

○事業所名	放課後等ディサービスまのあ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日	～	2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日	～	2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援	・行動がルーティン化できるよう一日の時間の流れを固定している。 ・指示は短かい言葉で明確に伝えるよう意識をしている。 ・意思の尊重・「やってみたい」「嫌」「苦手」など自分の気持ちを言葉で伝えることに慣れていけるよう受容をする。	・一日の流れがルーティン化することで自主的な行動が増えていくよう支援を行っている。
2	・活動 ・季節を感じられるよう各活動に四季の移ろいを取り入れている。	・伝統行事・クリスマス・お正月・まめまき など ・食育 ・七草がゆ ・恵方巻 ・焼き芋 など ・創作 ・冬の帽子作り こま作り お絵描きバトル ・おでかけ・公園・イベント参加・ など ・防災・防犯訓練・毎月1回実施(地震、火災、防犯) ・運動 ・大縄跳び・バランス・鬼ごっこ など	・活動を通し色々な経験を積み重ねていけるよう日々記録をし、定期的に考察を行う。
3	施設・広い空間を利用し伸び伸びと活動ができる。	・壁面装飾をなくすことで視覚情報を減らし、集中力を低下を招くことなく、落ち着いた環境になるようにしている。 ・物を置く場所が定位置化されている。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設 支援室が2階。階段の傾斜が急。	・普段、利用者様が階段を上る際は職員が後方につき下りる際は前方についている。階段の踊り場と支援室はゲートで区切られているが、子どもでも開けることが可能なので、突発的に開けて支援室から出てしまう可能性がある。	・目の前にいる子どもだけでなく全員に意識を向けることができるようにしている。
2			
3			